

## 脳神経外科における 救急医療の中核になる

### 医療法人社団 KNI 2025 年度救急救命士募集！

2024年4月から救急救命士科が新設され、新しい一步を踏み出しました。脳神経外科を中心とした地域の救急医療の中核を担い、一緒に救急救命士科を創っていく仲間を募集します！

#### 雇用形態

正職員

#### 求人数

3名

#### 応募資格

救急救命士免許取得者および2026年春取得見込み者

#### 業務内容

- ① 救急外来における業務  
(診療補助、電話対応、検査室への移送など)
- ② 病棟におけるケア業務  
(体位交換、物品管理など)
- ③ 一般外来における業務 ※今後実施予定  
(問診、トリアージなど)
- ※ 法改正に伴い、院内処置の拡大に向けた取り組みも開始予定！

#### 勤務地・勤務時間

- 北原国際病院：2交替制・3交替制混合
- ・早番 07:30～16:00（休憩1時間含む）
  - ・日勤 08:30～17:00（休憩1時間含む）
  - ・遅番 12:30～21:00（休憩1時間含む）
  - ・準夜勤 16:30～（翌）01:00（休憩1時間含む）
  - ・深夜勤 00:30～09:00（休憩1時間含む）
  - ・早当直 16:00～（翌）09:00（休憩2時間含む）
  - ・当直 16:30～（翌）09:30（休憩2時間含む）

#### 職員寮

あり（先着順）

北原国際病院隣接、ワンルームタイプ、トイレ・バス別

#### 保険

健康保険・厚生年金  
雇用保険・労災保険

#### その他

制服貸与、学会や講習会等の参加費補助  
慶弔・罹患・罹災給付、院内保育園完備  
病院車両貸し出し、グループ内宿泊施設利用補助  
予防接種補助 等

#### 募集内容

#### 福利厚生

#### 待遇

#### 月給

新卒給与見込み 203,000円～  
(基本給、ベースアップ手当を含む)

#### 手当

ベースアップ手当	3,000円/月
準夜・深夜手当	各4,000円/回
当直手当	8,000円/回
遅番手当	500円/回

#### 給与見直し

年1回（人事考課結果による）

#### 賞与

年2回（昨年度実績6月・12月）  
初年度は入職日により調整あり

#### 通勤手当

月50,000円迄 実費支給

#### 住宅手当

月20,000円迄（規定あり）

#### 入職時転居手当

入職時転居が必要な場合距離に応じて  
50,000円～120,000円（規定あり）

#### 休日

週休2日、祝日（シフト制）

#### 有給休暇

初年度15日（初年度4月1日入職の場合）

#### その他休暇

年末年始休暇リフレッシュ休暇、結婚休暇  
産前・産後休暇、育児休暇、介護休暇

配偶者出産休暇、子の看病休暇、忌引休暇 等

#### 応募について

#### 提出書類

- ①履歴書  
(当院所定の様式※当院HPよりダウンロード可能)
- ②卒業見込書・成績証明書（新卒者のみ）
- ③職務経歴書・救急救命士免許証写し（既卒者のみ）

#### 選考方法

- ①書類選考 ②面接（1次・2次）

※面接についてはWebにて実施させて頂く場合があります。

#### 選考期間

1ヶ月程度

#### お問い合わせ先

北原国際病院 〒192-0045 八王子市大和田町1-7-23 TEL: 042-645-1356 (採用担当: 横溝)

WEBサイト: <http://saiyou.kitaharahosp.com/>



2024年4月より  
新たに救急救命士科始動!!

2025年度 救急救命士 採用案内  
医療法人社団 KNI

## VISION

### 地域の脳神経外科救急医療の中核を目指して

当院は脳神経専門病院として、東京・八王子市を中心に多摩地域の脳疾患の救急患者さんを受け入れています。救急救命士科では、救急搬送やウォークインでいらっしゃった患者さんの問診や神経所見の観察を行い、救急担当の医師や看護師へ病状を報告します。脳塞栓症や膜下出血の診断などで緊急の手術や血管内治療に移行する場合には、患者さんの到着から治療開始まで迅速に対応する必要があります、時間との勝負となります。トリアージも行い、救急医療を時間の無駄なく提供できるように多職種と連携しながら対応しています。また、縫合などの処置介助や転院搬送の手配、ご家族への入院説明など、業務は多岐にわたります。さらに救急業務だけでなく、病棟でケア科と連携して入浴介助や物品補充などを行い、患者さんの入院生活も支えています。救急救命処置拡大も導入するなど、今後も活躍の場を広げていく予定です。

### 救急救命士の業務の紹介



北原国際病院  
入院病棟でのケア業務

#### 身体介助業務

寝たきりの患者さんのオムツ交換や体位変換、運動麻痺のある患者さんのトイレや入浴の介助、ひとりで食事をとることが難しい方の介助など

#### 環境整備業務

医療やケア用物品の補充・発注、患者さんのベッドメイキングやベッド周囲の清掃など

病棟でのケア業務を通して患者さんの治療や回復過程、介護技術、他職種との連携などを学んだり、患者さんの急変を察知し医師や看護師に報告します。



北原国際病院  
救急外来での救急業務

救急隊からのホットライン要請に対し、トリアージした上で救急搬送を受け入れます。患者さん到着後は、問診しながらバイタルサインや神経初見を確認し、医師や看護師へ結果を報告します。初療室では看護師や医師のそばに立ち、手技の介助を行います。必要に応じて、かかりつけ医に診療情報提供を依頼したり、他院への転院搬送の連絡をします。

当院が行っている検査・治療の内容を理解し、脳外科の専門的な知識が必要になります。緊急手術や血管内治療では1分1秒を争うため、他職種と連携し、一刻も早く治療を開始できるように努めています。



北原トータルライフサポート俱楽部  
会員向け健康相談業務

北原グループでは、地域の皆さまが安心して健康に人生を送るよう、「北原トータルライフサポート俱楽部」と呼ばれる会員制サービスを運営しています。気になる症状や体の不調があった際の相談先として、電話での相談窓口を設けており、その対応を救命士が行っています。月に約10件の相談があり、救急要請が必要か、受診する場合にはどの診療科にかかるべきかなどの判断を行っています。相談後も継続してフォローアップを行い、利用者さまが安心できるまで責任を持って対応します。

### 病棟業務のスケジュール(早番)

07:30	出勤・朝食の配膳
08:30	朝礼・申し送り
09:00	体位交換・清潔ケア
09:30	ベッドメイキング
11:00	備品補充
12:00	患者さんの移送
12:30	昼食の配膳
13:30	昼休憩
16:00	ナースコール対応 口腔ケア 退勤



### 北原で働く救急救命士を紹介 !!



松崎 創さん  
救急救命士5年目  
北海道ハイテクノロジー専門学校卒



急性期のみならず慢性期や在宅介護など幅広く医療に携わることができ、色々なことに挑戦できる点に魅力を感じ入職を決意しました。救急救命士法が改正されたこともあり、医療機関でも資格を活かすことができること、医療知識を深めながら患者さんに寄り添い、社会復帰に向け少しでも貢献できていることとてもやりがいを感じています。救急車で搬送された患者さんが治療やリハビリテーションを乗り越えて、ご退院される姿を見た時に医療を仕事にして良かったと感じます。救急救命士の仕事は、緊張感のある仕事ですが、だからこそ、職場の団結力も強く毎日誇りを持って働くことができています。

祖母が脳梗塞を患い、脳神経外科の専門病院に入職する事を決めたものの、大学では学ぶことのなかった未知のこと多く触れ、たじろぎばかりでした。そんな中でも、医師や看護師からも様々なことを教わり、次第に不安が興味に変わっていました。

当院に入職して良かったことは、まさにこの「職種関係なく成長できる」環境に出会えたことだと思います。

今後は救急外来や病棟での業務の他にも、グループ全体で救命士が働く環境を作りたいと考えています。

高川 航輝さん  
救急救命士7年目  
杏林大学卒

採用説明会お申し込み  
はコチラ



### 北原グループの救急救命士のこれまでのあゆみと今後の取り組み

- 2016年 救急救命士の採用を開始  
2017年 病棟に加えて救急外来での勤務が開始  
2021年 トータルライフサポート俱楽部のサービスの一環で「24時間相談サービス」試験運用を開始  
2022年 八王子市病院救急救命士連絡協議会への参加  
改正救急救命士法施行に伴う受講必須研修が完了  
2023年 北原国際病院における救急救命士業務が確立  
2024年 救急救命士科新設、ベトナムにおける救急救命士養成校開設のための支援事業へ参加  
第2回多摩地区病院救急車合同訓練への参加  
2025年 処置内容拡大に関する委員会の設置\*  
2026年 処置内容拡大の導入\*  
2030年 病院救急車の導入\*

\*今後の予定となります

### 臨床業務以外の活動



#### ケア科や院内向けに勉強会を開催

院内向けにBasic Life Support (BLS) 講習会を開催したり、ケアワーカー対象の疾患についての勉強会を主催しています。



#### 多摩地区病院救急車合同訓練

6想定を行い、より良い隊活動にするためのディスカッションも行われました。今後の病院救急車導入に向けて、学びを得ました。



#### 救急救命士養成校開設の支援事業

ベトナムの養成課程の指導者候補の医師に対して、三角巾での止血法や初期評価、ロゴロール等の技術を指導しました。